

常設展示室 案内図

太古から現代まで富谷について知ることが出来る常設展示 300 点の資料を見学出来ます。
また、特別企画展示スペースでは随時、常設展示以外の企画展を行います。



刀剣

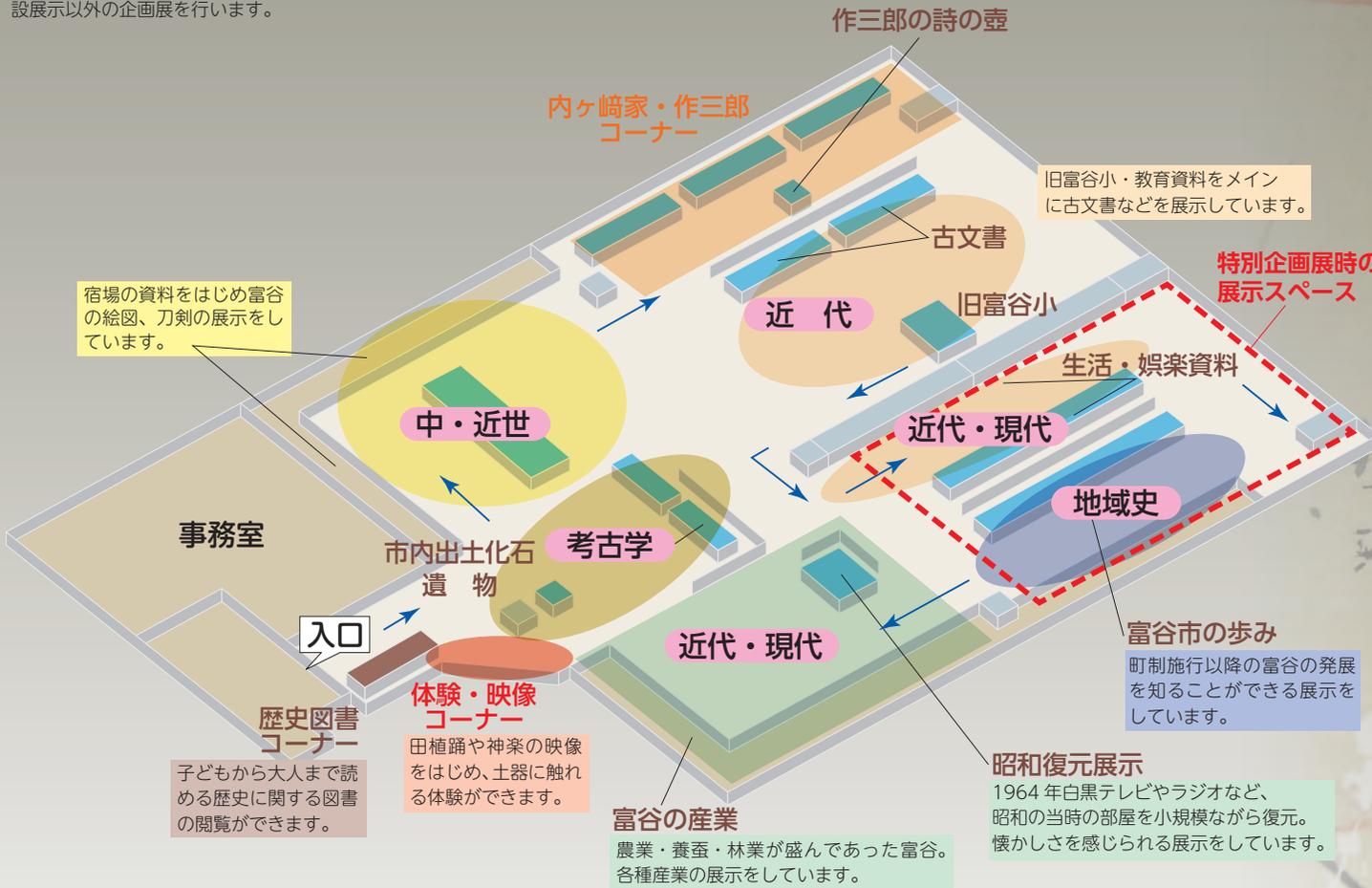


作三郎の壺



作三郎資料

富谷市 民俗ギャラリー



猪型土製品(縄文時代)



狭箱(江戸時代)



猪型土製品(縄文時代)



狭箱(江戸時代)



富谷の産業



十兵衛絵図

富谷

懐かしい風が心をほぐし新しい時代の風が吹くふるさと。



内ヶ崎作三郎の生誕の地
衆議院副議長を務めた政治家・内ヶ崎作三郎の生誕の地が本陣跡の向かいにあります。(一般開放はしていません。)



中宿の景観
本陣跡から、新町宿の入り口・熊野神社へと続く中宿付近の街道沿いには、宿場町らしい情緒ある景観が今も色濃く残っています。



恋路の坂
アララキ派の歌人・原阿佐緒とアインシュタインの弟子・石原純博士の恋にちなんで名付けられた富ヶ岡公園に至る坂道。



脇本陣跡
脇本陣をつとめた名望家の丸仙屋。1876年と1881年の東北北海道行幸で明治天皇が御小休なされたこともありその部屋は現在も保存されています。



内ヶ崎作三郎



富谷宿
天保14年(1843年)創業の「佐忠」さんが、明治末期に呉服店として建てた土蔵を改装し、しんまちの資料館・市場産品販売所として開店しました。



熊野神社
宿場町「富谷宿」が開設された際に、それまでは現在地よりも東にあった熊野神社を、宿場の入り口にあたる場所へ移動したと伝えられています。



内ヶ崎酒造店 (本陣跡)
参勤交代時の大名宿所であった本陣。酒造業は二代目作右衛門が寛文元年(1661年)に創業、以来今日まで休む事なく続けられ、宮城県内最古の歴史と伝統を誇っています。



富谷市民俗ギャラリー
Tomia history and folklore gallery

観覧時間 9:30~16:30
休館日 毎週月曜・年末年始
観覧料 富谷市民無料
(市外 一般100円・高校生50円)

〒981-3304 宮城県富谷市富谷新町95
(富谷市まちづくり産業交流プラザ3F)
TEL 022(358)1531 FAX 022(358)1448